

# 第4章 管理運営体制

魅力あるときわ公園を持続可能な公園として後世に引き継ぐために、収支バランスを図りながら、経営の安定化に取り組むとともに、市民ボランティアや民間企業等との共創の場を創出するなど、管理運営体制の見直しに取り組みます。

## 1 収支

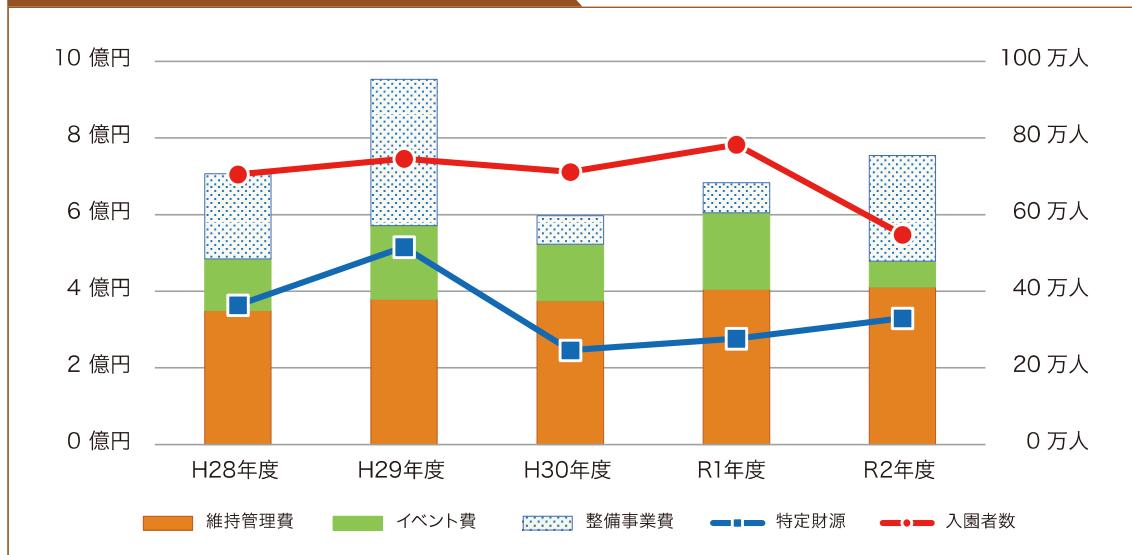
### (1) 収入

ときわ公園の主な収入は、駐車場使用料、ときわ動物園入園料、植物館入館料、公園占用料、ときわレストハウス、ときわ湖水ホール等の施設使用料および施設整備などに伴う国県の補助金と市債になっています。これらの収入のうち、駐車場使用料、動物園入園料、植物館入館料は、魅力の向上によって増大が見込めます。

### (2) 支出

支出については、施設等の維持管理費、イベント等の開催経費、整備事業費で構成されています。動物園と植物館のリニューアルが完了したことでの整備事業費が減少し、支出は一時的に減少しましたが、集客対策としてのイベント等の開催経費と、最低賃金の上昇などによって施設等の維持管理費は、上昇傾向にあります。

ときわ公園の収支と年間入園者の推移



※職員人件費を除く

### (3) 収支バランス

施設整備やイベントの充実により、ときわ公園の入園者は、増加したものの、有料施設の動物園、植物館の利用者は、リニューアル当初に比べると減少し、さらに令和2年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大きく減少したため、収入は減少しました。その一方で、イベントの開催経費や維持管理が上昇しているために、収支は悪化しています。

今後は、経費を節減しながら入園者等の増加に取り組むとともに、他の動物園や植物館、公園施設の管理運営状況を調査、研究するなどして、管理運営体制の見直しにも取り組み、安定的な公園経営を目指します。

## 2 管理運営体制

現在の管理運営体制に加え、新たに専門家や民間事業者等の総合プロデュースの導入などにより、施設等の魅力の向上に取り組むとともに、効率化とコスト削減による収支バランスが取れた管理運営体制の見直しにも取り組みます。

### ときわ動物園

現在、公益財団法人宇部市常盤動物園協会への委託による管理運営を行っています。今後は、動物園の経営を安定化させるために、同協会を運営管理者とする指定管理を目指します。

### 遊園地

現在、民間事業者の民設民営になっており、今後も、民設民営を維持していきます。

### ときわミュージアム【植物館】

現在は、市の直営による管理運営を行っていますが、リニューアルオープン以降、入館者の減少が続いている。今後も入館者の増加が見込めない場合には、民間事業者による管理運営も検討していきます。

### 公園全体

現在、公園全体の運営形態については、公設公営を基本としていますが、動物園の管理運営は委託、遊園地の遊器具は民設民営、花壇や花木の一部の維持管理を障害福祉サービス事業所への指定管理など、多様な運営形態を採用しています。今後は、他市の公園の管理運営状況も参考にしながら、民間事業者による総合プロデュースなども検討していきます。

### 3 共創による公園づくり

ときわ公園の管理運営には、動物園の管理運営にあたる常盤動物園協会、遊園地の遊器具の設置運営事業者、花づくりや清掃などに取組むボランティアなど、事業者、団体、個人など多様な主体が関わっています。これまで、これらの施設の管理者等は、市民との連携や協働による公園づくりの考え方のもと、個々の目標達成に向けて活動に取り組んできただため、公園全体としての統一感が十分ではありませんでした。

今後は、協働から共創へステップアップし、それぞれの公園施設の管理者等が、課題の抽出や目標の設定段階から解決策の検討や施策の実施まで、互いに関りをもち、市民が誇れる都市公園の実現という一つの共通目標の達成に向けて、各施設が連携した取組を進めます。

- ボランティアとの連携を強化するために、連絡協議会等の設置を検討
- 各公園施設の代表等で構成するプラットフォームの設置による情報共有
- 来場者の意見を施策に反映するために定期的なアンケートの実施

